

〈H16-6-A : 問題〉

次の文は、地図投影について述べたものである。正しいものはどれか。次の中から選べ。

1. ユニバーサル横メルカトル図法 (UTM 図法) は、縮尺 $1/1,000,000$ ～ 縮尺 $1/5,000,000$ の小縮尺地図に広く適用される。
2. 国土地理院発行の地形図で採用されているユニバーサル横メルカトル座標系 (UTM 座標系) の縮尺係数は、中央経線上において 0.9996、中央経線から約 120 km 離れたところで 1.0000 である。
3. 我が国の平面直角座標系における座標値は、X 座標では座標系原点より北側を「正 (+)」とし、Y 座標では座標系原点より東側を「正 (+)」とする。
4. 我が国の平面直角座標系は、日本全国を 19 の区域に分けて定義されているが、その座標系原点はすべて赤道にある。
5. メルカトル図法は、面積が正しく表現される正積円筒図法である。

<H16-6-B : 問題>

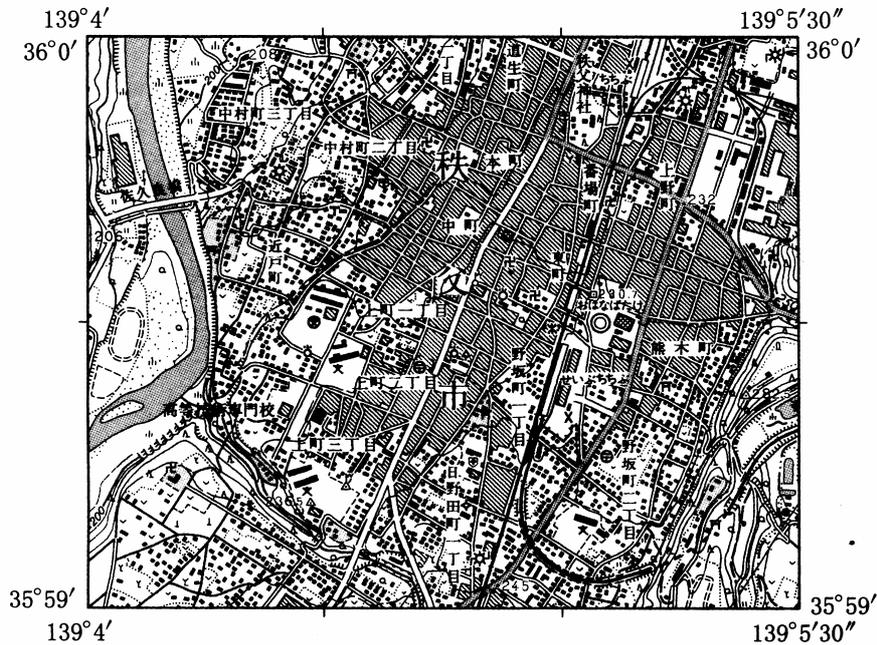
次の 1~5 は、大縮尺の地図を基図として中縮尺の地図を編集するときの精度保持を考えた一般的な描画順序を示したものである。最も適当なものはどれか。次の中から選べ。

1. 道路 → 三角点 → 建物 → 等高線 → 注記
2. 三角点 → 道路 → 建物 → 等高線 → 注記
3. 建物 → 道路 → 三角点 → 注記 → 等高線
4. 三角点 → 建物 → 道路 → 注記 → 等高線
5. 道路 → 等高線 → 建物 → 注記 → 三角点

<H16-6-C : 問題>

図 6-1 は、国土地理院発行の縮尺 1/25,000 地形図の一部（原寸大、一部を改変）である。次の文は、この図に表現されている内容について述べたものである。明らかに間違っているものはどれか。次の中から選べ。

1. 北緯 35 度 59 分 13 秒、東経 139 度 4 分 32 秒の位置付近にあるのは、電波塔である。
2. ちちふ駅前の交番からせいぶちちふ駅前の交番までの直線距離は、約 1.1km である。
3. 標高 200m 未満の地域の面積は、標高 200m 以上の地域の面積よりも小さい。
4. おはなばたけ駅を通る鉄道は、単線である。
5. ちちふ駅近くにある秩父神社の敷地内には、針葉樹が生えている。



※縮尺が正しく表示されない場合があります。

<H16-6-D : 問題>

次の文は、地理情報システム(GIS)の機能及び GIS で扱う代表的なデータの特徴について述べたものである。明らかに間違っているものはどれか。次の中から選べ。

1. GIS の機能の一つに、地図の重ね合わせ機能がある。
2. GIS の機能の一つに、地図の任意部分の切り出し機能がある。
3. ベクタデータは、点、線、面を表現でき、それぞれ属性を付加することができる。
4. 衛星画像データやスキャナを用いて取得した画像データは、一般にベクタデータである。
5. ラスタデータは、一定の大きさの画素を配列して位置や形状を表すデータ形式である。